

母校も同じ

札幌市

熊坂ゆかり

朝倉かすみさん(3月1日号8面)は大好きな作家。じっくり読みまし

た。道産子なのは知っているけれど、母校も同じだと知ったのは最近です。誰しもが遭遇する瞬間や経験をきつちりと書く作家だと尊敬しています。

いつまで…!?

埼玉・三郷市

阿部マヤ子(78)

「体が続く限りきつてく



愛知・岩倉市 原さつき

# 読者がつくるページ

この春、はじめたいこと

すすむ。この春こそ、一人で行きたいところに行きます。

## 自分の絵本を

横浜市 永友眞理子

## 眠っている着物を

新潟・上越市 ワン

## ヒップアップ体操

香川・高松市 M

川柳

- ・イギリスからアメリカ人も移民した  
群馬・桐生市 大山友子(80)
- ・貸上げと年金上げて「楽しい国」  
北海道函館市 小辻邦子(76)

ピアスで

千葉・我孫子市

坂巻芳子(74)

ピアスが大好き。若いときは目立たなくなにげに小さいのを。年を重ねるにつれ、逆に大きめをつけるようになった。ある日、デパートのアクセサリー売り場で同年代の人と会話に。やはりピアスをつけている。「だ



宮城・石巻市 山内景子(87)

## 9条の碑完成へ

長野市 戸谷久美子

昨年、地域で平和の講演会を開き、すぐに碑の建設の話になりました。実行委員会の方たちに感謝です。

## 原稿募集

☆テーマ: この春、はじめたいこと / 私のターニングポイント(転機) / 戦後80年と私  
投稿や作品をお待ちしています。また、紙面への要望・意見などお寄せください。投稿は300字前後、短くする場合があります。住所・氏名・年齢・電話番号を、匿名希望の方はペンネームを書きください。掲載した絵手紙は新婦人のSNSに掲載する場合があります。

あて先 〒112-0002東京都文京区小石川5-10-20  
新婦人しんぶん編集部  
ファクス03-5805-2372  
Eメール s-press@shinfujin.gr.jp

# おてんき てんきII

(2003)



## 読者文芸

## あなたも短歌

下村すみよ 選

「おじいちゃん、よい子でねんねしてちょうだい」「三歳の子の見舞いの言葉 東京都 勝間田喜久代

「評」大好きなおじいちゃんに三歳児のかけた愛情いっぱい言葉。「よい子でねんね」は自身が親から言われた言葉であろう。 愛知県 山本 京子

「評」暖炉をほのぼの。作業しながら歌うのはサトウハチロー作詞「もすがた枯れ木で」であろうか。 満洲に行った兄はもつと寒かろう。 北海道 前嶋三穂子

「評」滑りやすい雪の日の横断歩道でのひびき。お互いの、相手を思いやり感謝する気持ちが伝わってきつても温かい。 愛知県 折目 恵子

「評」数字にリアリティーがあつて楽しい。 愛知県 折目 恵子

きびきびと赤白旗のガードマン金茶はみ出す斜めのヘルメット 三重県 北尾 厚子

「評」今風の若者の描写が的確。動作と外見と。たくさんのお名を集めた教子に八十の我エナジ 一もろう 奈良県 佐藤 和代

「評」真の溢れる一首。エネルギーの意のエナジが印象的。英語教師だったのであろうか。 呼ばれて久し 宮城県 浅野 綾子

「評」「行きたくて」に切なさがこもる。食べ物に換える品なくひもじきに耐えし戦後が記憶に残る 大阪府 甲田 尊子

「評」戦争が終わっても続いた食糧難。正確に時を刻みつけてはや五年夫の胸のペースメーカー 愛知県 三谷 トミカ

「評」雪のない真つ青な空書べど異常気象と思えば不安 新潟県 今井 慶子

「作品募集」ハガキなどで編集部「あなたも短歌」係まで。作品は未発表のものに限ります。